

太子水道事業に係る大阪広域水道企業団水道事業給水条例施行規程の一部を改正する規程を公布する。

令和5年3月31日

大阪広域水道企業団
企業長 永藤 英機

大阪広域水道企業団管理規程第18号

太子水道事業に係る大阪広域水道企業団水道事業給水条例
施行規程の一部を改正する規程

第1条 太子水道事業に係る大阪広域水道企業団水道事業給水条例施行規程（平成29年大阪広域水道企業団管理規程第21号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(給水装置工事の申込み)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 条例第10条第2項の規定により、<u>企業長が必要と認めるときは、前項の申込みの際、利害関係人の同意書、工事申込者の誓約書、建築確認の通知書の写し又は建築確認済証明書の提出を求めることができる。</u></p> <p>3 (略)</p> <p><u>第12条 削除</u></p>	<p>(給水装置工事の申込み)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 条例第10条第2項の規定により、<u>工事申込者は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の申込みの際、当該各号に定める書類を提出するものとする。</u></p> <p>(1) <u>他人の給水装置から分岐して給水装置を設置するとき 所有者の承諾書</u></p> <p>(2) <u>他人の所有地を通過して給水装置を設置するとき 土地所有者の承諾書</u></p> <p>(3) <u>その他特別の理由があるとき 利害関係人の承諾書又は工事申込者の誓約書</u></p> <p>3 <u>前項に規定するもののほか、企業長が必要と認めるときは、建築確認の通知書の写し又は建築確認済証明書の提出を求めることができる。</u></p> <p>4 (略)</p> <p><u>(給水材料負担金)</u></p> <p><u>第12条 給水装置の新設の工事の申込者は、給水装置工事に要する給水材料について、条例第14条本文の規定により、次の表に掲げる額に100分の110を乗じて得た額（その額に1円未満の端数があると</u></p>

きは、その端数を切り捨てた額)の給水材料負担金を納付しなければならない。

メーターの口径	金額
13ミリメートル	円 10,000
20ミリメートル	12,000
25ミリメートル	15,000
30ミリメートル以上	企業長が定める額

備考 「給水材料」とは、止水栓、ボックスその他付属品をいう。

(簡易専用水道以外の貯水槽水道の管理及び自主検査)

第27条 (略)

(1) (略)

ア 水槽の掃除を毎年1回以上、定期に行うこと。

イ～エ (略)

(2) 前号の管理に関し、毎年1回以上、定期に給水栓における水の色、濁り、臭い及び味に関する検査並びに残留塩素の有無に関する水質の検査を行うこと。

(簡易専用水道以外の貯水槽水道の管理及び自主検査)

第27条 (略)

(1) (略)

ア 水槽の掃除を1年以内ごとに1回、定期に行うこと。

イ～エ (略)

(2) 前号の管理に関し、1年以内ごとに1回、定期に給水栓における水の色、濁り、臭い及び味に関する検査並びに残留塩素の有無に関する水質の検査を行うこと。

第2条 太子水道事業に係る大阪広域水道企業団水道事業給水条例施行規程の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
(料金)	(料金)
第17条 条例第26条第3項各号列記以外の部分の料金の計算において、金額に1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。	第17条 条例第26条第1項の料金の計算において、金額に1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。
2 条例第26条第5項に規定する用途の適用基準は、次のとおりとする。	2 条例第26条第4項に規定する用途の適用基準は、次のとおりとする。
(略)	(略)
(資料提出の請求)	(資料提出の請求)
第20条 条例第26条第5項に規定する用途の適用、条例第29条の規定による使用水	第20条 条例第26条第4項に規定する用途の適用、条例第29条の規定による使用水

量の認定等について企業長が必要と認めるときは、使用者に資料の提出を求めることがある。

量の認定等について企業長が必要と認めるときは、使用者に資料の提出を求めることがある。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、令和5年10月1日から施行する。